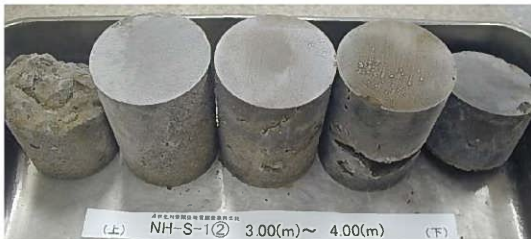


■ 試料諸元

調査地点名	NH-S-1				
試料名	S-1				
試料採取深度	① G.L.-	2.00	~	2.80	m (80 cm区間)
	② G.L.-	3.00	~	4.00	m (100 cm区間)
	③ G.L.-	5.00	~	5.85	m (85 cm区間)
採取試料長	① 不明	cm	(採取率%	不羽	)
	② 不明	cm	(採取率%	不羽	)
	③ 不明	cm	(採取率%	不羽	)
押出後試料長	① 不明	cm	(採取後押出時圧縮率%	不羽	)
	② 不明	cm	(採取後押出時圧縮率%	不羽	)
	③ 不明	cm	(採取後押出時圧縮率%	不羽	)
試料備考	なし				

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

試験前



試験後



試験後(縦割り)



■ 試験結果

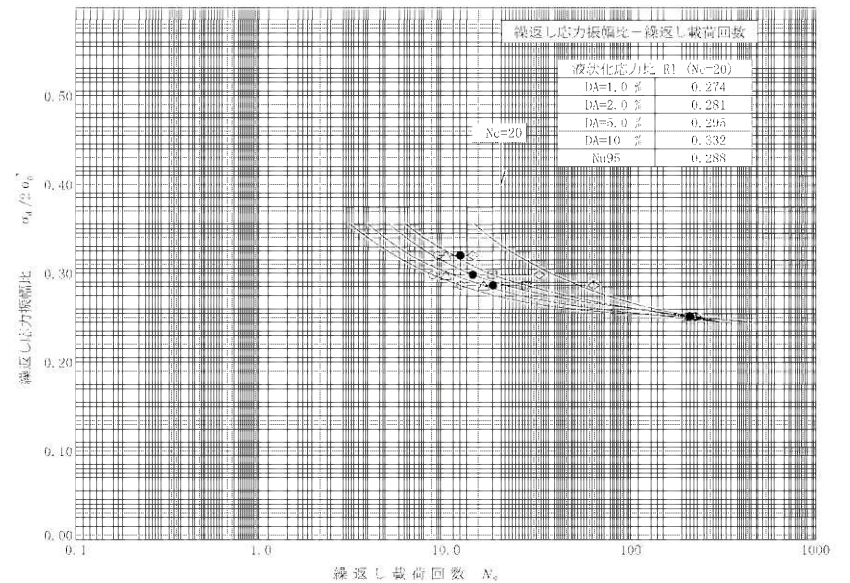
JGS 0541 土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回教)

調査地名 液状化対策関係地質調査業務委託 試験年月日 平成25年 10月 1日

試料番号(深さ) NH-S-1(S-1) (2.00m~5.85m)

試験者 所 藤二

土 質 名 称		細粒土質砂	試験装置	荷重計算量 N (位置)		2000 (セルの内)	
試験条件	荷 圧	σ_v kN/m ²	100.0	載荷ビストン摩擦補正		補正無	
	圧 密 応 力	σ_v' kN/m ²	65.0	間隙水圧測定管路体積変化		cm ³ /kN/m ² 0.00015	
	有荷拘束圧	σ_h' kN/m ²	65.0	材 質	ラテックス		
	載 荷 波 形	正弦波		厚 さ	mm 0.30		
載荷周波数	f Hz	0.20	ゴムスリーブ	ゴムスリーブ貫入量		補正無	
供 試 体	No.	1		2	3	4	
乾 燥 密 度	ρ_{ds} g/cm ³	1.585		1.453	1.493	1.599	
間 隙 比	e_s	0.790		0.951	1.021	0.773	
相 対 密 度	D_{rs} %	96.6		58.9	42.6	100.4	
繰返し軸圧応力	σ_1 kN/m ²	38.8		37.3	41.7	32.7	
繰返し応力振幅比	$\sigma_1/2\sigma_3'$	0.299	0.287	0.321	0.252		
繰返し載荷回数	軸圧比 DA =	1 %	G	8.5	12	9.0	204
		2 %	A	10	16	10	208
		5 %	□	18	27	12	216
		10 %	◇	32	63	14	225
	過剰間隙水圧比	95% N_{95}	◆	14	18	12	209



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.0102 kgf/cm²]

■ 試料諸元

調査地点名 : NH-S-1
試料名 : S-4
試料採取深度 : ① G.L.- 10.00 ~ 10.95 m (95 cm区間)
② G.L.- 11.00 ~ 11.95 m (95 cm区間)
採取試料長 : ① 不明 cm (採取率% 不明)
② 不明 cm (採取率% 不明)
押出後試料長 : ① 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不明)
② 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不明)
試料備考 : なし

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

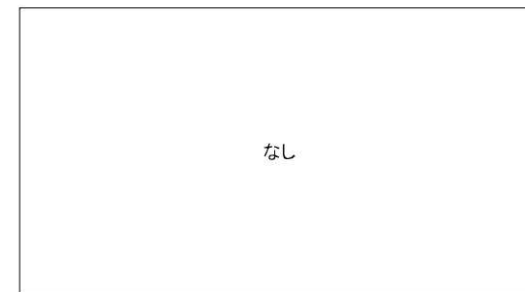
試験前



試験後

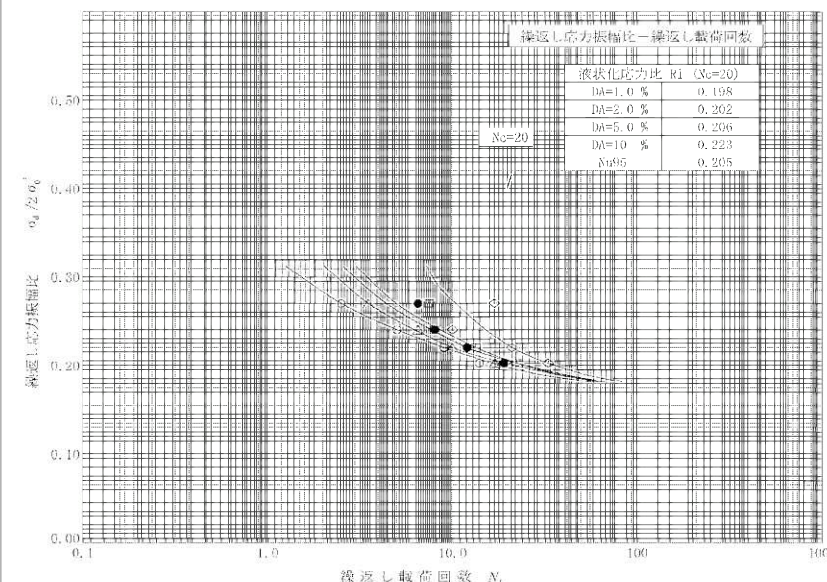


試験後(縦割り)



■ 試験結果

JGS 0541		土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)	
調査件名 液状化対策関係地質調査業務委託		試験年月日 平成25年 10月 3日	
試料番号 (添き) NH-S-1 (S-4) (10.00m~11.95m)		試 験 者 西 雄二	
土 質 名 称		細粒分まじり砂	
試験条件		試験方法	
圧 密 圧 n_k kN/m ²		荷重計容量 N (位置)	
土 密 度 σ'_c kN/m ²		転荷ビストン摩擦補正	
有効拘束圧 σ'_0 kN/m ²		側隙水圧測定経路係数変化 cm ³ /kN/m ²	
載 荷 周 波 形		材 質	
載 荷 周 波 数 f Hz		厚 さ mm	
供 試 体 No.		ゴムスリッパ着入量	
乾燥密度 σ_{d0} g/cm ³		1 2 3 4	
間 隙 比 e_0		1.435 1.425 1.444 1.437	
相 対 密 度 D_{re} %		0.890 0.903 0.879 0.824	
繰返し軸差応力 σ_e kN/m ²		81.8 79.5 83.7 93.4	
繰返し応力振幅比 $\sigma_e/2\sigma'_0$		75.7 67.4 61.7 56.8	
繰返し軸差応力		0.270 0.241 0.220 0.203	
繰返し軸差応力		2.5 5.0 9.0 14	
繰返し軸差応力		3.5 6.5 10 17	
繰返し軸差応力		7.5 8.0 13 22	
繰返し軸差応力		17 10 21 33	
過剰側隙水圧比 95% N_{50}		6.5 8.0 12 19	



特記事項

[1kN/m² ≈ 0.0102 kgf/cm²]

■ 試料諸元

調査地点名 : NH-S-1
試料名 : S-6
試料採取深度 : ① G.L.- 26.00 ~ 27.00 m (100 cm区間)
採取試料長 : ① 不明 cm (採取率% 不明)
押出後試料長 : ① 不明 cm(採取後押出時圧縮率% 不明)
試料備考 : なし

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

試験前



試験後



試験後(縦割り)



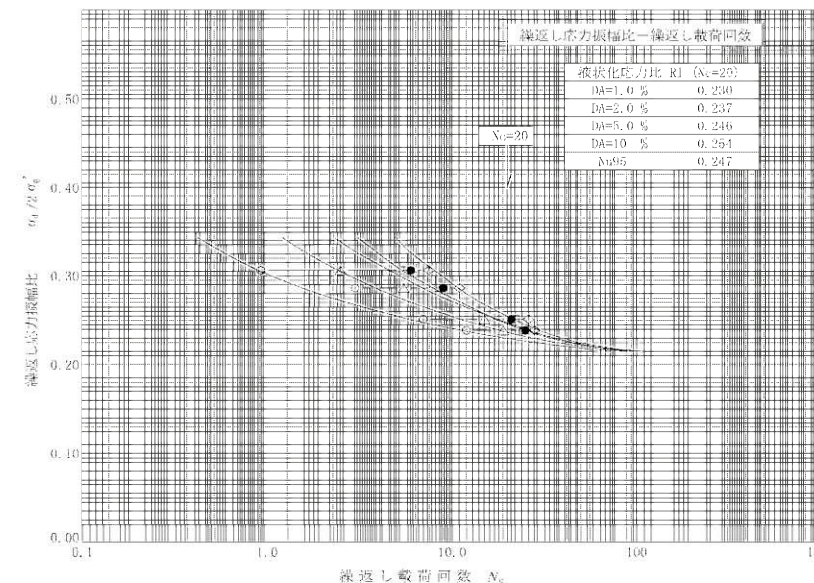
■ 試験結果

JGS 0541	土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)
----------	--------------------------

調査件名 液状化対策関係地質調査業務委託 試験年月日 平成25年 10月 4日

試料番号 (深さ) NH-S-1(S-6) (26.00m~27.00m) 試験者 所 維二

土質名称		等質圧力 (有効圧力) σ_1	試験装置		荷重計容量 N (位置) 載荷ピストン摩擦補正 潤水圧測定経路体積変化 $\text{cm}^3/\text{kN/m}^2$	2000 (セルの内) 補正無	
試験条件	圧密圧力 σ_2	kN/m^2	300.0	三軸圧縮機	材 質 厚 さ mm	0.00015 ラテックス 0.30 補正無	
	有効拘束圧 σ_3	kN/m^2	300.0				
	載荷波形状		正弦波				
	載荷周波数 f	Hz	0.20				
	供試体 No.		1				2
繰返し試験	乾燥密度 σ_{ds}	g/cm^3	1.152		1.287	1.118	1.148
	間隙比 e_v		1.298		1.057	1.367	1.306
	相対密度 D_{rc}	%	110.6		136.1	103.3	109.9
	繰返し軸差圧力 σ_d	kN/m^2	183.8		171.8	150.8	143.4
	繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma_3$		0.306		0.286	0.251	0.239
繰返し試験 の 載荷回数	軸差圧力の増減割合	$\Delta\sigma = 1\%$	○	0.93	3.0	7.0	12
		2%	△	2.5	5.5	15	19
		5%	□	5.5	8.5	22	25
		10%	◇	7.5	11	26	28
		過剰間隙水圧比 95% N_{95}	●	6.0	9.0	21	25



特記事項

[1kN/m² ≈ 0.102 kgf/cm²]

■ 試料諸元

調査地点名	: SN-S-1		
試料名	: S-1		
試料採取深度	① G.L.- 1.00 ~ 2.00 m (100 cm区間)		
	② G.L.- 2.00 ~ 3.00 m (100 cm区間)		
	③ G.L.- 3.00 ~ 4.00 m (100 cm区間)		
採取試料長	① 不明 cm (採取率% 不羽)		
	② 不明 cm (採取率% 不羽)		
	③ 不明 cm (採取率% 不羽)		
押出後試料長	① 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
	② 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
	③ 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
試料備考	: なし		

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

試験前



試験後



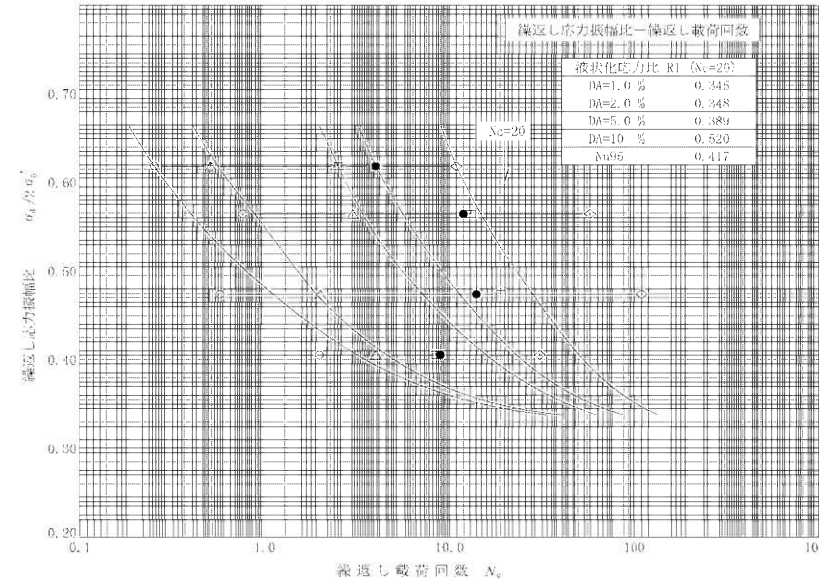
試験後(縦割り)



なし

■ 試験結果

J G S 0 5 4 1		土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)			
調査件名		液状化対策関係地質調査業務委託		試験年月日 平成25年 10月 16日	
試料番号 (深さ)		SN-S-1 (S-1) (1.00m~4.00m)		試 験 者 前 維二	
土 質 名 称		砂		試験装置	
試験条件		圧 密 応 力 σ_v kN/m ²		2000 (セルの内)	
圧 密 応 力 σ_v kN/m ²		100.0		載荷ピストン摩擦補正 補正無	
有効拘束圧 σ_h kN/m ²		40.0		間隙水圧測定管路経路係数 cm ³ /kN/m ² 0.00015	
載 荷 波 形		正弦波		社 名 ラテックス	
載 荷 周 波 数 f Hz		0.20		厚 度 mm 0.30	
供 試 体 No.		1		ゴムスリプ貫入量 補正無	
乾 燥 密 度 σ_d g/cm ³		2.089		2	
間 隙 比 e_s		0.502		3	
相 対 密 度 D_{re} %		101.5		4	
繰返し軸差応力 σ_1 kN/m ²		32.4		1.930	
繰返し応力振幅比 $\sigma_1/2\sigma_3$		0.405		0.626	
繰返し載荷回数		DA= 1 %		0.635	
繰返し載荷回数		2 %		0.618	
繰返し載荷回数		5 %		0.474	
繰返し載荷回数		10 %		0.561	
繰返し載荷回数		過剰間隙水圧比 95% U_{95}		0.26	
繰返し載荷回数		●		0.76	
繰返し載荷回数		○		0.51	
繰返し載荷回数		△		2.0	
繰返し載荷回数		□		19	
繰返し載荷回数		◇		110	
繰返し載荷回数		●		12	
繰返し載荷回数		●		4.0	



特記事項

[1 kN/m² ≈ 0.1012 kgf/cm²]

■試料諸元

調査地点名	SN-S-1			
試料名	S-4			
試料採取深度	①	G.L.- 5.00 ~ 6.00 m (100 cm区間)		
	②	G.L.- 6.00 ~ 7.00 m (100 cm区間)		
採取試料長	①	不明 cm (採取率% 不羽)		
	②	不明 cm (採取率% 不羽)		
押出後試料長	①	不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
	②	不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
試料備考	なし			

■ サンプル写真



■試験供試体写真

試験前



試験後

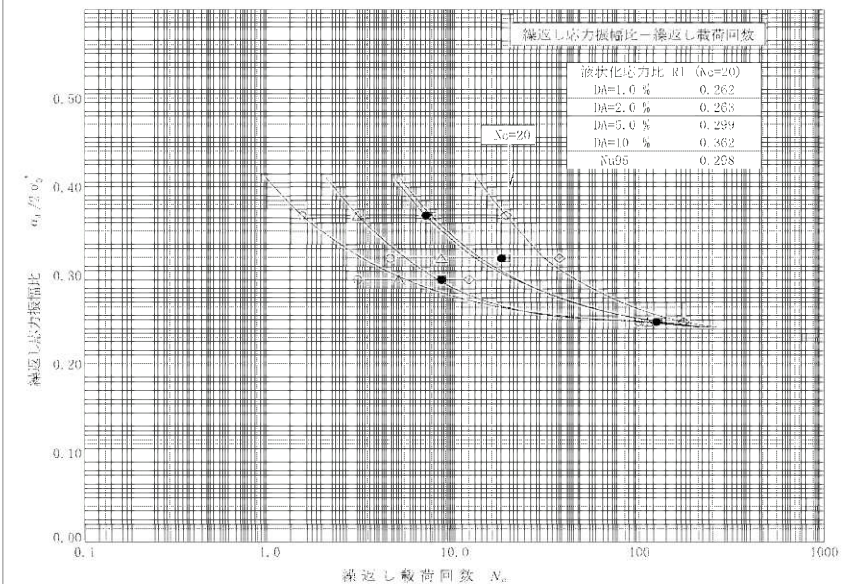


試験後（縦割り）

なし

■試験結果

J G S 0 5 4 1		土の繰返し非排水三軸試験 (応力比一繰返し回数)	
調査件名 液状化対策関係土質調査業務委託		試験年月日 平成25年 10月 17日	
試料番号 (深さ) SN-S-1 (S-4) (5.00m~7.00m)		試 験 者 所 維二	
土 質 名 称 試験条件 有効拘束圧 載荷履歴 供 乾 燥 密 度 間 隙 比 相 対 密 度 繰返し軸生応力 繰返し応力振幅比 繰返し載荷回数 過剰間隙水圧比	土 質 名 称	砂	試験装置 ボタリク
	圧 密 度 n_v kN/m ²	100.0	荷重計容量 N (位相)
	圧 密 度 σ_v kN/m ²	80.0	載荷ビストン摩擦補正
	有効拘束圧 σ_h kN/m ²	80.0	間隙水圧測定経路体積変化 cm ³ /kN/m ³
	載 荷 歴 史 形	正逆波	材 質
	載 荷 周 波 数 f Hz	0.20	厚 さ mm
	供 試 体 No.	1	バムスリーブ貫入量
	乾 燥 密 度 σ_{sk} g/cm ³	1.430	2
	間 隙 比 e_s	0.877	3
	相 対 密 度 D_{re} %	57.5	4
繰返し軸生応力 σ_a kN/m ²	17.3	78.5	1.496
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma_v$	0.296	0.780	0.794
繰返し載荷回数	DA= 1 %	59	4.5
	2 %	111	8.5
	5 %	132	19
	10 %	174	37
過剰間隙水圧比 95% N_{95}	●	124	18
			7.0



特記事項

 $[1 \text{ kN/m}^2 \approx 0.102 \text{ kgf/cm}^2]$

■ 試料諸元

調査地点名 : SN-S-1
試料名 : S-6
試料採取深度 : ① G.L.- 9.00 ~ 10.00 m (100 cm区間)
② G.L.- 10.00 ~ 11.00 m (100 cm区間)
採取試料長 : ① 不明 cm (採取率% 不明)
② 不明 cm (採取率% 不明)
押出後試料長 : ① 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不明)
② 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不明)
試料備考 : なし

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

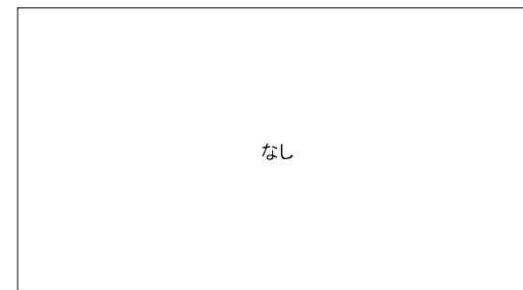
試験前



試験後



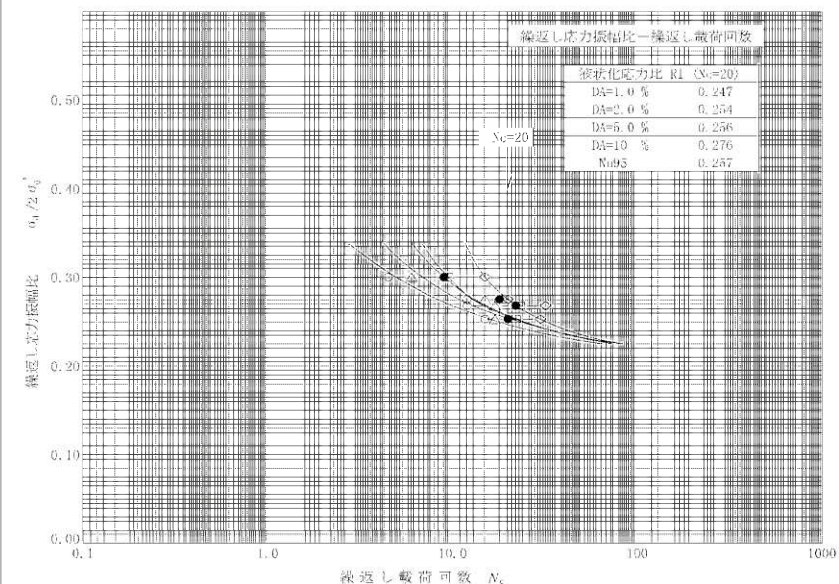
試験後(縦割り)



■ 試験結果

JGS 0541 土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)

調査件名	液状化対策関係地質調査業務委託	試験年月日	平成25年 10月 18日
試料番号 (深さ)	SN-S-1 (S-6) (9.00m~11.00m)	試験者	所 雄二
土質名	細粒分まじり砂	試験装置	ボトムシリンダ
試料番号	100.0	荷重計容量 N (位置)	2000 (セルの内)
圧密応力 σ'_v kN/m ²	120.0	軟弱ピストン摩擦補正	補正無
有効均束圧 σ'_0 kN/m ²	120.0	間隙水圧測定経路体積変化 cm ³ /kN/m ²	0.00015
載荷周波数 f Hz	0.20	材質	ラテックス
供試体 σ_v	1	厚さ mm	0.30
乾燥密度 σ_{ds} g/cm ³	1.420	ゴムスリーブ貫入量	補正無
間隙比 e_v	0.912		
相対密度 D_{re} %	76.6		
繰返し軸差応力 σ_d kN/m ²	72.1		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.300		
繰返し回数	DA=1 % 4.5		
	2 % 6.0		
	5 % 9.5		
	10 % 15		
温度間隙水圧比 95% N_{95}	9.0		



特記事項

[1kN/m² ≈ 0.0102 tscf/cm²]

■試料諸元

調査地点名	SN-S-1			
試料名	S-8			
試料採取深度	① G.L. - 17.00 ~ 18.00 m (100 cm区間) ② G.L. - 18.00 ~ 19.00 m (100 cm区間)			
採取試料長	① 不明 cm (採取率% 不羽) ② 不明 cm (採取率% 不羽)			
押出後試料長	① 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽) ② 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)			
試料備考	なし			

■ サンプル写真



■試験供試体写真

試験前



試験後

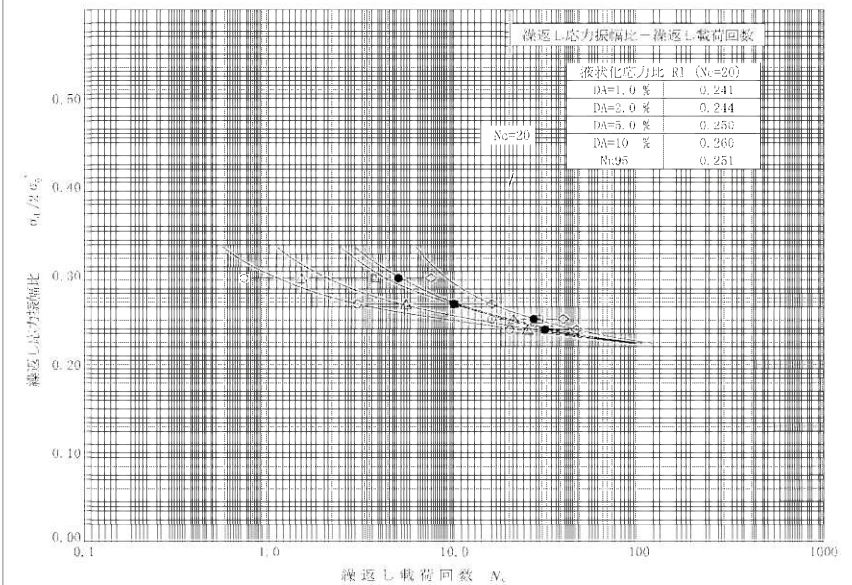


試験後(縦割り)

なし

■試験結果

JCS 0541		土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)	
調査件名 液状化対策関係地質調査業務委託		試験年月日 平成25年 10月 21日	
試験番号 (深さ) SY-S-1 (S-8) (17.00m~19.00m)		試験者 所 藤二	
土質名	細粒分質砂	試験装置	2000 (セカの内)
背圧	u_b kN/m ²	荷重計容量 N (位置)	
圧密応力	σ_c^* kN/m ²	載荷ピストン厚隙補正	補正無
有効側圧	σ_v^* kN/m ²	間隙水圧測定経路係数変化	cm ³ /kN/m ²
荷重波形状	正弦波	材質	ラテックス
荷重波数	f Hz	厚さ	mm
供試体	No.	ゴムスリーブ貫入量	補正無
乾燥密度	σ_{sk} g/cm ³	2	3
間隙比	e_0	1.467	1.485
相対密度	D_{rc} %	0.836	0.812
繰返し軸差応力	σ_d kN/m ²	105.9	109.5
繰返し応力振幅比	$\sigma_d/2\sigma_v^*$	124.9	112.6
繰返し回数	16	0.297	0.268
2%	21	2.6	2.6
5%	29	1.5	5.5
10%	39	2.8	9.9
過割間隙水圧比	95% N_{avg}	7.5	16
	27	5.0	10



特記事項

 $[1 \text{ kN/m}^2 \div 0.0102 \text{ kgf/cm}^2]$

■ 試料諸元

調査地点名	: SN-S-1				
試料名	: S-10				
試料採取深度	① G.L.-	24.00	~	24.60	m (60 cm区間)
	② G.L.-	24.60	~	25.35	m (75 cm区間)
	③ G.L.-	25.35	~	26.10	m (75 cm区間)
採取試料長	① 不明	cm	(採取率%	不羽	)
	② 不明	cm	(採取率%	不羽	)
	③ 不明	cm	(採取率%	不羽	)
押出後試料長	① 不明	cm	(採取後押出時圧縮率%	不羽	)
	② 不明	cm	(採取後押出時圧縮率%	不羽	)
	③ 不明	cm	(採取後押出時圧縮率%	不羽	)
試料備考	: なし				

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

試験前



試験後

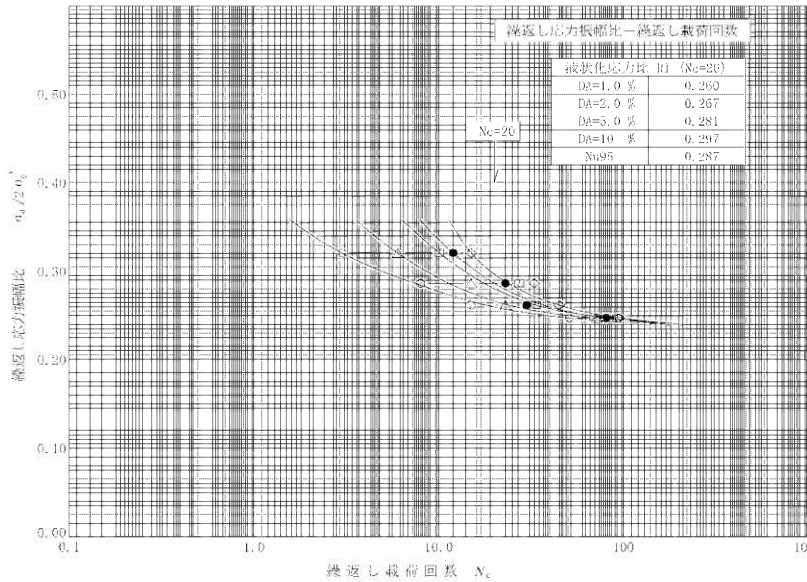


試験後(縦割り)



■ 試験結果

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)				
調査件名		液状化対策関係地質調査業務委託	試験年月日	平成25年 10月 22日		
試料番号(深さ)		SN-S-1(S-10) (24.00m~26.10m)	試験者	前 維二		
土質名称	細粒分まじり砂	試験装置	荷重計容量 N (位置)	2000 (セルの内)		
試験条件	背圧 u_b kN/m ²	載荷ピストン摩擦補正	補正無			
	圧密応力 σ'_v kN/m ²	間隙水圧測定経路係数	cm/kN/m ²	0.00015		
条件	有効拘束圧 σ'_v kN/m ²	材料	質	ラテックス		
	載荷波形状	厚	mm	0.30		
	載荷周波数 f Hz	ゴムスリッパ	剪入量	補正無		
供試体	No.	1	2	3	4	
乾燥密度	σ_{dc} g/cm ³	1.285	1.159	1.125	1.157	
間隙比	e_v	1.050	1.272	1.342	1.276	
相対密度	D_{rc} %	99.2	63.3	52.0	62.6	
繰返し軸差応力	σ_d kN/m ²	133.7	134.8	141.5	173.2	
繰返し応力振幅比	$\sigma_d/2\sigma'_v$	0.248	0.287	0.262	0.321	
繰返し応力比	DA=1 %	○	51	8.0	15	3.0
	2 %	△	72	15	23	6.0
	5 %	□	93	27	34	10
	10 %	◇	94	33	45	15
	過剰間隙水圧比	95% $N_{0.95}$	●	81	23	30



特記事項

[1kN/m²=0.0102 kgf/cm²]

■ 試料諸元

調査地点名	: SN-S-2		
試料名	: S-1		
試料採取深度	① G.L.-	4.00 ~ 5.00 m (100 cm区間)	
	② G.L.-	5.00 ~ 5.75 m (75 cm区間)	
	③ G.L.-	5.75 ~ 6.50 m (75 cm区間)	
採取試料長	① 不明	cm (採取率% 不羽)	
	② 不明	cm (採取率% 不羽)	
	③ 不明	cm (採取率% 不羽)	
押出後試料長	① 不明	cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)	
	② 不明	cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)	
	③ 不明	cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)	
試料備考	: なし		

■ サンプル写真

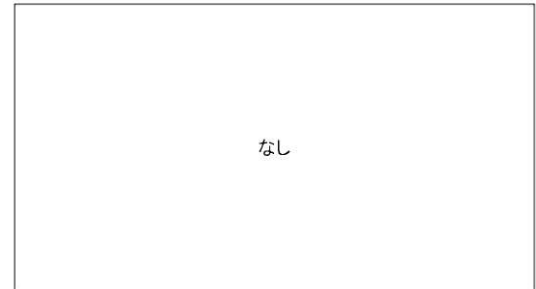


■ 試験供試体写真

試験前



試験後

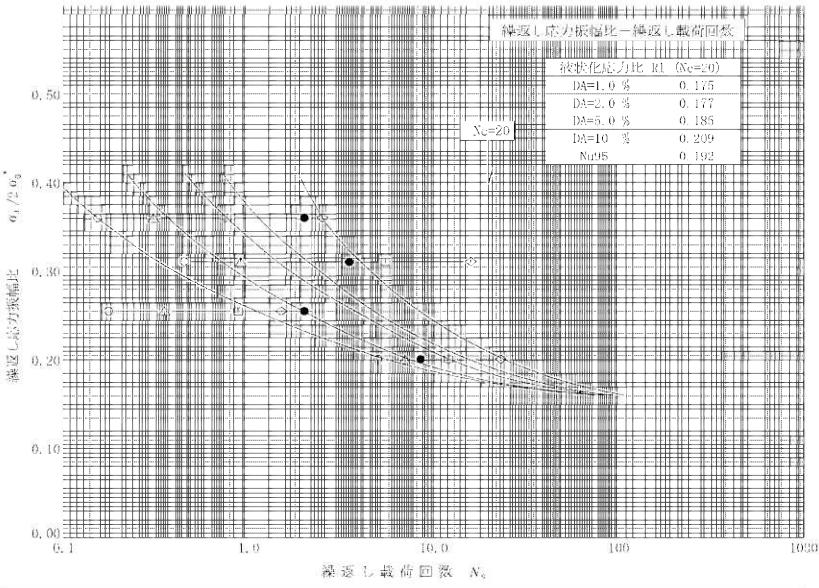


試験後(縦割り)



■ 試験結果

JGS 0541	土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)		
調査件名 液状化対策関係地質調査業務委託		試験年月日 平成35年 10月 29日	
試料番号 (深さ) SN-S-2(S-1) (1.00m~6.50m)		試験者 安部松 昭宏	
土質名称	砂	荷重計容量 N (位置)	2000 (セルの内)
試験装置		軟荷ピストン摩擦油 (注)	補正無
圧密応力 σ_v	kN/m ² 75.0	間隙水圧制圧係数 α	0.00015
有効応力 σ_v'	kN/m ² 75.0	材料	ラテックス
載荷波形状	正弦波	厚さ	0.30
載荷周波数 f	Hz 0.20	ゴムスリーブ貫入数	補正無
供試体 No.	1	2	3
乾燥密度 σ_{dc}	g/cm ³ 1.466	1.375	1.527
間隙比 e_0	0.859	0.982	0.784
相対密度 D_{rc}	%		
繰返し軸差応力 σ_d	kN/m ² 46.6	54.2	38.4
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma_v$	0.311	0.361	0.256
繰返し応力振幅比の符号	DA= 1 %	○	0.45
	2 %	△	0.91
	5 %	□	5.5
	10 %	◇	16
過剰間隙水圧比 $q_{65} M_{65}$	●	3.5	2.0



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.0102 kgf/cm²]

■ 試料諸元

調査地点名	: SN-S-2		
試料名	: S-4		
試料採取深度	① G.L.- 11.00 ~ 12.00 m (100 cm区間)		
	② G.L.- 12.00 ~ 13.00 m (100 cm区間)		
	③ G.L.- 13.00 ~ 14.00 m (100 cm区間)		
採取試料長	① 不明 cm (採取率% 不羽)		
	② 不明 cm (採取率% 不羽)		
	③ 不明 cm (採取率% 不羽)		
押出後試料長	① 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
	② 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
	③ 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)		
試料備考	: なし		

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

試験前



試験後

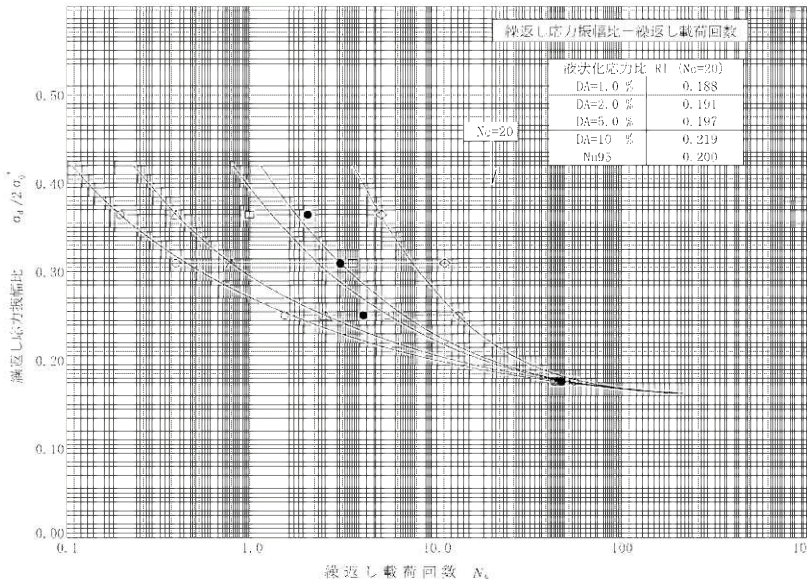


試験後(縦割り)



■ 試験結果

JGS	0541	土の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)		
調査件名		液状化対策関係地質調査業務委託		試験年月日 平成25年 10月 10日
試料番号 (深さ)		SN-S-2 (S-4) (11.00m~14.75m)		試験者 安部 昭光
土質名	名称	試験分まじり砂	試験装置	荷重計容量 N (位置)
試験条件	圧力 p_1	100.0	載荷ビストン摩擦補正	2000 (セルの内)
	有効拘束圧 σ_3	150.0	間隙水圧測定経路体積変化	補正無
載荷波形状		正弦波	材厚	0.0015
載荷周波数 f	Hz	0.20	ゴムスリッパ貫入量	0.30
供試体 No.		1		補正無
乾燥密度 ρ_{d0}	g/cm ³	1.389		4
間隙比 e_s		0.962		1.374
相対密度 D_{r0}	%			0.983
繰返し軸差応力 σ_3	kN/m ²	93.0	109.5	75.3
繰返し応力振幅比 $\sigma_3/2\sigma_1'$		0.310	0.365	0.251
繰返し載荷回数	軸差応力の振幅比			
	DA=1%	○	0.39	0.19
	2%	△	0.77	0.39
	5%	□	3.5	0.97
過剰間隙水圧比	95% N_{95}	●	11	5.0
			3.0	2.0



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.102 kgf/cm²]

■ 試料諸元

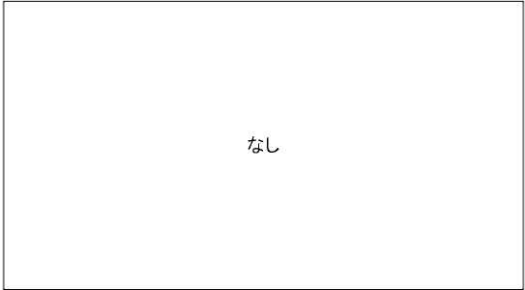
調査地点名	: SN-S-2			
試料名	: S-7			
試料採取深度	① G.L.- 19.00 ~ 19.50 m (50 cm区間)			
	② G.L.- 19.50 ~ 20.10 m (60 cm区間)			
	③ G.L.- 20.10 ~ 20.80 m (70 cm区間)			
	④ G.L.- 20.80 ~ 21.80 m (100 cm区間)			
採取試料長	① 不明 cm (採取率% 不羽)			
	② 不明 cm (採取率% 不羽)			
	③ 不明 cm (採取率% 不羽)			
	④ 不明 cm (採取率% 不羽)			
押出後試料長	① 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)			
	② 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)			
	③ 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)			
	④ 不明 cm (採取後押出時圧縮率% 不羽)			
試料備考	: なし			

■ サンプル写真



■ 試験供試体写真

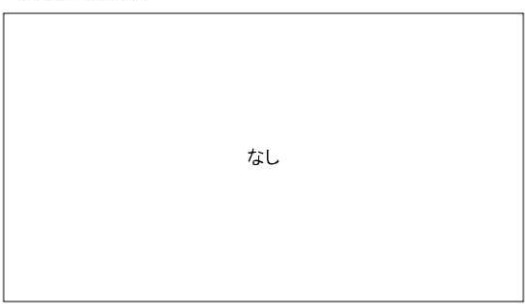
試験前



試験後

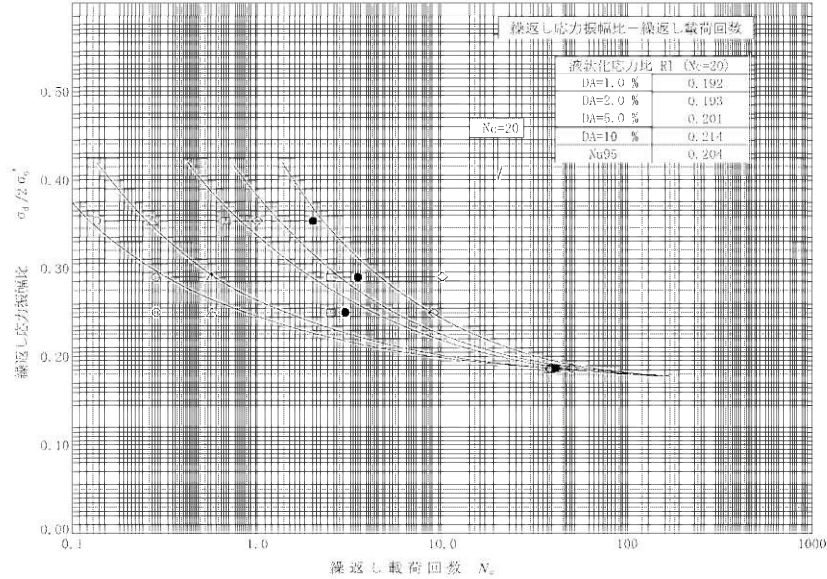


試験後(縦割り)



■ 試験結果

JGS 0541 十の繰返し非排水三軸試験 (応力比-繰返し回数)										
調査件名 液状化対策関係地質調査業務委託					試験年月日 平成25年 10月 12日					
試料番号(深さ) SN-S-2(S-7) (19.00m~21.80m)					試 験 者 安部松 昭亮					
土 質 名 称 砂					試験装置 荷重計容量 N (位置) 2000 (セルの内)			補正無		
試験条件 密 圧 σ_v kN/m^2 240.0										
圧 密 応 力 σ'_v kN/m^2 240.0					液状化発生時圧縮率 e_v $\text{cm}^3/\text{kN/m}^2$			0.06015		
有効拘束圧 σ'_h kN/m^2 240.0					材 質			ラテックス		
載 荷 波 形 正弦波					厚 さ mm			0.30		
載 荷 周 波 数 f Hz 0.00					ゴムスリーブ貫入量			補正無		
供 試 体 No. 1					2		3		4	
乾 燥 密 度 σ_{d0} g/cm^3 1.685					1.635		1.650		1.593	
間 隙 比 e_v 0.671					0.722		0.697		0.761	
相 対 密 度 D_{rv} %										
繰返し軸圧力 σ_a kN/m^2 139.2					169.9		120.0		89.8	
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_v$ 0.290					0.354		0.250		0.187	
繰返し載荷回数 軸圧力の繰返し率					0.28		0.14		0.29	
					2 % Δ 0.56		0.27		0.57	
					5 % $\square$ 2.5		0.68		2.5	
					10 % $\diamond$ 10		1.0		9.0	
					過剰間隙水圧比 9.5% N_{95} $\bullet$ 3.5		2.0		3.0	



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.102 kgf/cm²]